



第717回例会 2006年 4月 26日(水)
SAKAI NAKA ROTARY CLUB

中友

〈堺中ロータリークラブ〉

創立 1991.4.9
 例会日 毎週水曜日 午後6時30分
 例会場 〒599-8237 大阪府堺市深井水池町3238 ガバナー(第2640地区) 平尾寧章
 ウェディングカーニバル サンパレス内 会 長 池田幸二
 事務局 〒599-8237 堺市深井水池町3254 フランシーズ301号 幹事 橋本宗夫
 TEL 072(279)9074 FAX 072(279)9094 クラブ会報委員長 大曲伸一
 E-mail sakainak@d2.dion.ne.jp クラブ会報副委員長 白濱章
 E-mail info@sakainakarc.org
 URL <http://www.sakainakarc.org>

姉妹クラブ 台中西屯ロータリークラブ(台湾)平成 5年5月締結
 耽羅ロータリークラブ (韓国)平成18年3月締結
 友好クラブ 名瀬中央ロータリークラブ(奄美)平成 7年4月締結



カール・ヴィルヘルム・ステンハマー
 2005~2006年国際RI会長

2005~2006年度 No.40

本日の例会

会員卓話「私と堺中ロータリークラブの 15 年を語る」
 井上 隆夫 会員・奥田 均 会員

次回の予告 5月10日(水)

会員卓話「私と堺中ロータリークラブの 15 年を語る」
 槌屋 茂康 会員

外来卓話 富士技研(株)代表取締役 榎本 信之様

2005-2006年度 地区テーマ
例会を充実し、出席率の向上を

4つのテスト —言行はこれに照らしてから—

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

2005-2006年度 クラブテーマ
**15年の歩みを大いに語り、
 ロータリーライフを楽しみましょう**

私と堺中RC15年を語る



中 慶四郎会員

何からお話してよいかわかりませんが、とにかく私がボンサークラブの東南RC、小野さん（今はフェニックスRCに移る）の推薦でまだ名前もない新しいクラブに入会を勧められたのが、64歳の前半でした。何しろ24時間嫌おうなく働かなくてはならない職業ですから、毎週、毎週出席出来るのだろうか先ず不安でしたが、決断は入会すると下手でもちゃんとゴルフをさせてくれるという、たわいもないことで決めました。そして家族は誰もが入会には反対しないもの、冷ややかな反応でした。

そして平成3年4月9日（火）「堺中（仮）ロータリークラブ」創立総会が東南RC（会員数67名）の指導で開催されましたし、六月のチャーターナイト（国際ロータリー認証状贈呈式）があり、確か会員数31名（会長は故北田久七氏）での発足でしたが、当時はバブル経済の峠にさしかかった頃でしたので、今にして思えば華やかなものでした。それから毎例会東南の会員さんがビジターとして出席され、色々卓話をされましたが、今から思えば当時の東南のメンバーは、故、中谷利兵衛様はじめ、牟礼さん、樋口さん、大塚さん等々、清々と弁舌さわやかにロータリアンは如何にあるべきかを述べられる有様に、これは「えらい会に入会したぞ」と感心を通り越して、ゴルフどころでないぞと、ほんとにビビりました。

早速、誰が決めたか私は職業奉仕委員長を命ぜられ、さて何としたものか？と当時の東南の会長牟礼さんお尋ねしたところ、「その内に分かるから、何でも人の言うことを聞いて、真似をしとればええんです」とのこと、何にも知らない私としては、「奉仕の理想」とか「超我の奉仕」とか、奉仕、奉仕とちんぷんかんぷんでしたが、とにかく「あなた方は選ばれてこの会に入って、襟につけたバッジはステータスのシンボルである」と。なんか尻こそばゆい感じでたまりませんでした。「まあしかし、一年間で委員長は交代ということだから、ボヤいていてもしかたない、しばらく辛抱してやってみるか」という調子でした。

こうしてやがて一年が経つうちに、①ロータリーの土台は「クラブ奉仕」にあるのだな。②ロータリーは人間関係が全てで、親睦も人と人、奉仕も人が人にするのだな。③人と人の関係ならば相手があり、これをうまくやっていくためには、相手の身になって考え、相手の意見をよく聞いて自分の考えの参考にする。つまり相手の意見を尊重して自分を磨く、つまりこれが自己研鑽だな。④その自

己研鑽の中心が「例会」なんだと、分かってきました。しかし実際の理事会や会員アッセンブリなどで、会員は夫々一国一城の主、自己主張の強い人も多く、自分の主張を押し通そうとすると、反対派と激論となり、多数決で押し切られると面白くない。丸く収まるのことができなくて、去っていった人々が多かったことを、今懐かしく思い出されます。あの素晴らしいクラブと思えた親クラブの東南クラブでさえ、例会場の問題であえなく分裂してフェニックスクラブが別に誕生した経過には、はたから見るともっと複雑なものがあったかもしれませんが、残念なことでした。わがクラブでも5周年記念祝賀会後、一挙に確か9人ほど退会して、次年度の堀会長、井上幹事長の並々ならぬご尽力で、このクラブが見事に再生できたのでした。特にこの年度に「堺中ロータリークラブの歌」が作られました。作詞は第5代会長 松原康夫氏、作曲は大坂芸大教授 千秋次郎先生で、確か2回ほど大坂芸大声学科教授田中公道先生の指導をいただいて、皆で歌えるようになり、クラブの意識も次第に高まりまして、今日も例会ソングで歌っているわけです。

一口に15年と言ってもそこには、15人のポリシーを持った会長がいたことになりませんが、とりあえず第4代会長を務めた私の年度の思い出などお話致します。とにかく私は自分一人が男で後は女ばかりの「女護ヶ島」のような環境で仕事をしているので、会の運営とか、経理とか、会議等に全く自信がありませんでしたから、万事、奥田幹事さんにお任せして、私は例会をとにかく楽しいものにして、先ず週報の表紙半分（約1,000字）を埋める文章を頑固に毎週投稿しました。今にして思えばほんとにあの文章は、ロータリーとか奉仕とかの言葉をなるべく控えめに書いた筈ですが、皆さんが読んで魅力的だったか疑問です。そして例会のマンネリ化を防ぐため、「粗食の日」の「ワインのくじ引き」をやりましたが、その本音は、奉仕の財源の「ニコニコ箱」を増やす「海老鯛」効果も期待したものでした。そしてこの年の8月には泉ヶ丘RCとの合同例会とか、台中西屯RCの会員子弟の2日間のホームステイ。9月の敬老の日にはベルファミリア敬老祝賀会参加。4日には世界初の海上空港、関西空港がオープンした年でもありました。10月のガバナー公式訪問があり、その時の才門ガバナーとは今も「メル友」を続けておりますが、あの方は私より一ヶ月程早く生まれた同年令で、昨年9月に老齢を理由に退会されたと聞いております。私も体力、気力の限界を悟って今、心千々に乱れております。話がそれましたが、同じく10月の家族会はルミナス神戸2号に乗船し、船上例会でディナーを楽しみました。12月には台中西屯RCの創立2周年記念式典に6名参加。（何回か同じような会に参加したので、当時誰が訪問したか忘れまして。）

〈紙面の都合上、後半は次週に掲載します〉